

えりもしゃくなげ



教育委員会だより 発行者 教育長 川上松美

26年度のえりも町教育行政執行方針の骨子をお伝えます。(学校教育関係)

去る3月13日のえりも町定例議会で、次のような内容について述べさせていただきました。

また、4月14日には、町内の校長、教頭、事務長さんが一堂に会する中で、この1年、教育委員会として、各学校の教職員の皆様には「チームえりも」の強い思いと気概で取組をお願いしたいこと、また、小・中・高が互いの接続・連携を図り教育活動に当たってほしいことを話しました。

以下、執行方針を項目で整理してお伝えます。

はじめに

- ・現在、景気や原発への対応など、先行き不透明な時代
- ・教育の機会均等と教育水準の維持は不変
- ・基礎学力やいじめ・不登校への対応、家庭との連携は大きな課題
- ・学校だけではなく家庭と地域との連携が大切
- ・学校、家庭、地域がそれぞれの役割を担うこと
- ・地域と共に児童生徒の「学びの環境づくり」

I 学校教育の推進について

1 学校教育推進の基本姿勢

- ・「知・徳・体の調和の取れた教育」を推進
- ・「教育の不易と流行」を見据えること
- ・学校経営の基盤～経営のキーワード「7つの危機管理」

- ①教育課程 ②生徒指導 ③服務・勤務 ④健康安全 ⑤保護者・団体・関係機関 ⑥施設管理 ⑦個人情報

・校長は「学校経営構想」、教頭は「学校運営方策」をもって戦略的経営を

・三育の推進

- ①基礎学力の定着を図る取組の強化 ②道徳教育の充実 ③健康な体づくりの推進

・中高一貫教育に係る連携と小・中・高の接続を図る取組

・「チームえりも」で全町上げて学校教育の充実

2 小・中学校教育

(1) 基礎学力を身に付ける教育活動の充実



学習規律を守って
学習に集中しています。

・基礎的・基本的な知識及び技能を習得、課題を解決できる思考力、判断力、表現力等を育むこと

・学校と家庭が車の両輪となって教育活動を推進すること

・25年度は

町教育向上対策委員会を中心に「授業改善と家庭学習改善」について、全町的な機運が高まり組織的な取組が始まったこと

・26年度は

①教育向上対策委員会に連動した検証改善サイクルが見える「学校改善プラン」を策定

②4つの方策「ア学習規律の最低基準の設定
イ板書に整合したノート指導 ウ「定着」の

段階を位置付けた指導過程 エ積極的な他校との研修」を重視して授業改善

③えりも小学校の道教委指定「学校力向上事業」を柱とした小学校一体となった校内研究の充実

④放課後や長期休業中の学習サポート等、授業力の向上と家庭学習の習慣化

⑤えりも中学校では、生徒一人一人の習熟の程度に応じた指導や協力教授による指導、準入学選抜試験に向けた数値目標を定めた取組等

⑥えりも小学校はじめ3校に、3名の学校支援員を配置し、学習サポートや学校運営の支援

(2) 豊かな心と健やかな体を育む教育活動の充実

●道徳教育の充実

- ・「いじめ」は、「人間として絶対に許されない」
- ・組織的・機動的な早期発見、早期対応が重要
- ・25年度は

生徒指導の取組が町内一丸となって進められる体制が確立、いじめの解決や体罰の禁止に結び付いてきたこと



みんなで鮭の稚魚を、
願いを込めて放流しました。

・26年度は

①アンケート調査や教育相談

②「私たちの道徳」を生かした道徳の授業の充実

③道徳教育推進教師を中心とした道徳教育の推進体制の充実

④生徒指導連絡協議会、青少年健全育成協議会の活動

⑤「いじめ根絶標語」や「生活リズムチェック」運動等

⑥組織の強化と「いじめゼロ、体罰ゼロの学校」

●**健やかな体を育む健康と体力**

・生活習慣や運動習慣を身に付ける活動や健康を守る環境づくりを一層充実

・25年度は

①体力では、継続した中距離走や長縄とび等

②健康では、町内全小学校でのフッ化物洗口等

③安全では、津波や地震を想定した避難訓練を実施

・26年度は

①「体力向上プラン」による1校1実践

②新体力テストの実施と授業での活用

③フッ化物洗口等を推進

④防犯・薬物乱用防止等の教室の実施や防災体制の対応を全町一丸となって推進

(3) 児童生徒の自立を目指す特別支援教育

・児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行うことが大切

・25年度は

町の就学指導委員会や東部地区就学指導委員会の定期的な話し合い

・新冠判官館での他校との交流学习等

・26年度は

①笛舞小学校を除く全小学校とえりも中学校に特別支援学級

②「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」

③児童生徒の実態を把握しながら支援や指導体制の充実、関係機関との連携

3 高等学校教育の充実

(1) 進路実現を目指す教育活動の充実

・どの生徒も希望を満たす進路実現を図ること

・えりも高校の25年度の進路状況
各種の決定率は、就職・進学ともに100%
(部活加入71.1%、全道大会進出2部等)

・26年度は

①習熟度に応じた少人数指導や課外講習

②定期考査前補習、目標に応じたキャリア教育等の充実

③部活動の活性化、元気のある学舎づくり

④当町の豊かな自然や産業に目を向けた活動や、地域の教材を生かした教育活動

(2) 自国と他国の文化等のよさを実感できる海外研修の充実

・「えりも高校ならではの教育事業」

・25年度は

①大韓民国への研修は、生徒31名が参加

②韓国と日本の歴史学習や残留日本人との交流等

③日本や韓国の文化等のよさを学ぶ機会

・26年度は

意義を深めながら目的を明確にした研修

4 中高一貫教育の充実と小・中・高の接続

・当町の連携型中高一貫教育も11年目

・25年度は

キャリア教育をはじめ環境教育等の取組



自ら植樹した愛木の三年目の枝落としです。

・26年度は

①教職員の乗入れ授業や進路連携のキャリア

教育

②「百人浜に学ぶ」環境教育等

③教育課程に位置付けた中・高の連携を図る取組

・小・中・高の接続では

①英語、漢字、数学検定を一層進めること

②小・中・高を通じた組織的・系統的なキャリア教育の充実

③町学校教育研究会を中心にして授業交流や研究協議

④学びの連続性を重視した取組を一層推進すること

5 信頼される学校づくりの推進

・「やるべきことをしっかりやる」学校体制を確立

・信頼の絆に満ちた学校経営の推進を図ることが重要

・25年度は

①研修を深める指導主事訪問

②「KTSの誓い」(交通安全、体罰禁止、セクシャルハラスメントの誓い)等の実施

③教育公務員としての資質向上や法令遵守の徹底を図り、子どもの手本となるべき教職員の姿が見られたこと

・26年度は

①「積極的な7つの危機管理」の共通認識

②「KTSの誓い」の実行、署名、捺印、校内掲示

③服務・勤務の徹底

④積極的な指導主事訪問の要請

⑤「開かれた学校」の推進

・地域、町民から信頼される学校づくり

※「6 留意事項以下」については、次号でお伝えします。